

墨田区議会 Liberal Democratic Party
自由民主党だより 2019 7 July

■発行/墨田区議会自由民主党(墨田区吾妻橋1-23-20)
 ■発行責任者/加藤 拓 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック! <http://jimin-sumida.jp/>



新体制がスタート

令和元年の新執行部です。本年度も円滑な会派運営に努めます。

問 今後の施策展開について

答 区長選で山本区長は、「すみだの「夢」実現」スティージアップ構想」を公約として掲げたが、今後の具体的な施策展開について言及がなかった。また、所信表明において、その構想についての説明があったが、きわめて抽象的かつ総花的なもので、具体的な事業については今年度予算の事業以外は示されなかった。昨年12月の本会議での坂下修議員の質問に対する答弁で、2期目の選挙に当たっては、区民に分かりやすい客観的指標の目標値も示すと述べていたにもかかわらず、選挙公約でも所信表明でも果たされなかったことに対して、会派として意に満たない思いである。あらためて今年4年間で特に注力する事業について、明確な評価指標と共に示すことを区長に求める。

問 ご指摘のとおり、区民の皆さんが施策の達成状況を客観的に評価できるように、具体的な施策を掲げ、数値入りの評価指標を定めることは重要であると認識している。基本計画の中間改定作業の中で、前期計画に織り込んだ、数値目標の指標について、分析・検証を行い、注力する施策と併せ評価指標を改めて設定していく。

問 所信表明の中で、「すみだ型共生社会」という言葉が初めて使われたが、非常に抽象的な説明にとどまり、具体的な施策の例示等がないため全くイメージできない。どのような施策のどのような効果により実現していくのか、その一端を具体的に提示するよう区長に求める。

問 学力向上新3か年計画の取組の成果をどう評価しているか。

答 ①この間の墨田区学習状況調査及び児童・生徒の学習や生活に関する意識調査の双方の結果から、教育委員会としては、区内の児童・生徒の学力の状況は、計画の取組により、上昇傾向にあるという評価をしている。

②今後は、基本方針として、引き続き学力向上に効果のあった「組織的な学力向上の取組の推進」や「基礎的、基本的な学習内容の確実な定着」を進めていくほか、「発展的学習の充実」や「学習意欲の向上」についても展開していく。

③第2次計画では、次期学習指導要領において、児童・生徒が「確かな学力」を身に付けていけるようにするために、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が各学校で行われるよう取組を進める。

第2回定例会 代表質問



<p>樋口敏郎 活力と笑顔のあふれるまち「すみだ」</p> <p>昨年制定されました「墨田区手話言語及び障がい者の意思疎通に関する条例」「墨田区議会基本条例」をしっかりと実践し、区民の皆様の福祉につとめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画総務委員会 委員長 行財政改革等特別委員会 <p>墨田区八広 3-6-3 090-6043-3869</p>	<p>沖山 仁 夢を求めて、生きる事の楽しさを!</p> <p>近年各地で豪雨災害など台風が巨大化され、墨田区は地震だけでなく水害の対策も必要とされています。隅田川・荒川に挟まれ氾濫水害危険も見られ緊急に国の補助、助成、インフラ整備に取り組みたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 副幹事長・議会運営委員会 産業都市委員会 委員長 災害対策特別委員会 <p>墨田区京島 1-52-11 03-3617-6558</p>	<p>田中 邦友 夢と希望の持てる墨田区を次の世代へ!</p> <p>区議会のさらなる活性化、そして子育て支援や高齢者・障がい者(児)福祉施策の充実と教育力の向上をめざし全力で取り組んで参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 墨田区議会議長 産業都市委員会 災害対策特別委員会 <p>墨田区八広 1-39-17 03-3616-7014</p>	<p>木内 清 清心・実行・実績(清心動)</p> <p>福祉の充実・自然災害への備え・高齢者がいきいきと生活するための施策実現のために全力で働きます!</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民福祉委員会 副委員長 行財政改革等特別委員会 <p>墨田区亀沢 2-12-3-501 霜鳥ビル 090-3060-8434</p>
<p>しもむら 緑 皆様の安全と、教育に力を入れていきます!</p> <p>区民の皆様のいのちを守ることを第一に、すべての子供達が夢や希望を持って頑張れる社会の構築に向け、3期目も頑張ります!</p> <ul style="list-style-type: none"> 副幹事長・議会運営委員会 地域子ども文教委員会 議会改革特別委員会 委員長 <p>墨田区亀沢 4-22-8-608 080-2443-0212</p>	<p>佐藤 篤 自己実現できる墨田区へ</p> <p>子育て、仕事、生きがいなど誰もが幸福を追求することのできる墨田区—そのためには私は、公正で人にやさしい、機会を生む政策を提案し、結果を出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域子ども文教委員会 副委員長 議会改革特別委員会 <p>墨田区京島 3-18-4 090-8567-8293</p>	<p>加藤 拓 今期もよろしくお願ひします。</p> <p>今期も皆様のご意見をぜひお寄せください。お約束した公約の実現に向けて努力するとともに、区政の課題に真摯に取り組んでまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹事長・議会運営委員会 委員長 企画総務委員会 議会改革特別委員会 <p>墨田区緑 1-2-12-503 090-8510-6489</p>	<p>福田 はるみ スマイルすみだ 笑う門に福、春来る</p> <p>区議として三期 12 年間の経験と実績を生かしてまいります。区民サービスを充実させ区民満足度 100%を目指し全力で取り組んでまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画総務委員会 災害対策特別委員会 委員長 <p>墨田区立花 3-2-6-302 03-3618-6125</p>
<p>藤崎 こうき やる気・元氣・藤崎こうき</p> <p>「子育て支援、学力向上、災害対策」3つのテーマを議会最年少という立場で誠心誠意頑張ります!!</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域子ども文教委員会 災害対策特別委員会 <p>墨田区向島 5-42-3 03-3623-0010</p>	<p>たきざわ 正宣 人にやさしい街 墨田へ</p> <p>防災対策、子育て支援、高齢者等 区民生活を拡充し、安全・安心して暮らせる「すみだ」をめざして鋭意努力して参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民福祉委員会 議会改革特別委員会 <p>墨田区墨田 5-34-11 03-5247-5202</p>	<p>坂井 ひであき 子供の笑顔のたえない街を目指して行動</p> <p>安心安全の街を目指し、皆様のご意見をいただきながら区内の課題を共に考えてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業都市委員会 行財政改革等特別委員会 <p>墨田区石原 3-16-1 090-2654-5478</p>	<p>坂井 ユカコ 区民目線の素直で確かな行動力で</p> <p>中長期的な視野で、より皆様が望む墨田区の将来像を追求します。第19期も座右の銘「身近でやさしい区政と情報発信」に元氣一杯務めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 副幹事長・議会運営委員会 区民福祉委員会 行財政改革等特別委員会 委員長 <p>墨田区東駒形 2-2-4 090-3617-4313</p>

すみだ自民党議員紹介

お気軽にご意見をお寄せください。
 墨田区議会自由民主党 [ホームページもチェック!](http://jimin-sumida.jp/) <http://jimin-sumida.jp/>

編集室より

今期、私達三名(木内清、福田はるみ、たきざわ正宣)が自民党の広報委員に任命されました。区民の皆様に区議会の活動を理解していただける様に 分かりやすい紙面作りに努めて参ります。この会派報は区議会の広報活動として、区内の各駅にて配布をさせていただきますので、お手に取って頂ければ幸いです。また区議会自民党にご質問、ご意見等ございましたらご一報下さい。

令和元年度 常任委員会と特別委員会

区政に関わる案件をより能率的、専門的に審査する為に、各議案は事務部門別に設置された4つの常任委員会に付託され、議論されます。各委員会での審査結果は、本会議で報告されます。また特定の事項を審査調査するため特別委員会は設けられています。

定例会の注目議論をピックアップ

企画総務委員会

区政の総合的な計画、広報広聴、組織、予算、公共施設等マネジメント、財産管理、契約などに関する事項を議論します。



福田はるみ委員 樋口敏郎委員長 加藤拓委員

POINT 大学誘致の進捗状況等についての報告として、千葉大学が活用する旧すみだ中小企業センターの改修基本設計の概要が示されました。今回は「区民と交流する開かれた大学」等の基本設計コンセプト、工事費の概算、今後のスケジュールの他、施設の各階のフロアコンセプト及び平面図が明らかになり、より具体的な大学の姿がイメージできるようになりました。令和3年4月の開校に向けて順調に準備が進んでいくことを期待しています。

産業都市委員会

産業振興、経営支援、消費者対策、観光、まちづくり、防災、危機管理、道路、公園、河川、環境保全、緑化、清掃、リサイクルなどに関する事項を議論します。



田中邦友委員 沖山仁委員長 坂井ひであき委員

POINT 区内無電柱化区道の選定について 無電柱化計画案の報告があり、都市防災の強化・安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出の三点の方針に合致する区道を選定して整備計画を推進してまいります。 区立公園等における禁煙化の実施について 区立公園141カ所と区民ひろば20カ所において「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」に基づき禁煙とする説明がありました。

地域子ども文教委員会

地域力支援、協治、地域コミュニティ、文化・芸術・スポーツ振興、子ども・子育て支援、学校教育、地域教育などに関する事項を議論します。



しもむら 緑委員 佐藤 篤 副委員長 藤崎 こうき委員

POINT 6月27日に改選後初の地域子ども文教委員会が開会されました。我が会派は、佐藤篤副委員長、しもむら緑委員、藤崎こうき委員の三名が出席しました。10月から施行する幼児保育・教育無償化に対応していく為の条例を審議しました。認可外施設については、保育料が三ヶ月ごとに後払いとなるのは、保護者の負担が大きいため、貸付制度などの充実や支払い期限の短縮を求めました。

区民福祉委員会

戸籍、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、税務、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険、保健衛生、健康づくりなどに関する事項を議論します。



坂井ユカコ委員 木内清副委員長 たきざわ 正宜委員

POINT 墨田区印鑑条例、墨田区特別区税条例、墨田区介護保険条例の一部を改正する条例を改正しました。ぶんか高齢者総合支援センターの開設、幼児教育・保育の無償化の概要等について報告がありました。その他、木内清委員は生活保護世帯のエアコン設置状況についてと自立支援センター墨田寮についての意見等、坂井ユカコ委員からは、ぶんか高齢者総合支援センター、民泊の実態の把握等の意見と区長の民泊行政への考えを改めて問いました。たきざわ正宜委員は印鑑条例について質疑を行いました。

特別委員会人事について

災害対策特別委員会



沖山仁委員 福田はるみ委員長 田中邦友委員 藤崎こうき委員

行財政改革等特別委員会



樋口敏郎委員 坂井ユカコ委員長 木内清委員 坂井ひであき委員

議会改革特別委員会



佐藤 篤委員 しもむら 緑委員長 加藤拓委員 たきざわ正宜委員



墨田区議会議員 佐藤 篤

一般質問

子どもをめぐめる環境について問う

●災害時の赤ちゃんの栄養・衛生環境について万全を期すべき

問 ①災害時には、液体ミルクの公的備蓄が必要だと考える。備蓄についての区としての考えは、また、②授乳の際、哺乳瓶の衛生状態が保たれなければ、赤ちゃんにとって下痢や感染症のリスクが激的に上がる。哺乳瓶の衛生状態を確保する方策は、
答 ①現段階においては、備蓄品としての導入の計画はないが、まずは公助の備えとして、民間事業者との協定締結等も含め検討していく。また、②哺乳瓶の衛生状態を確保する方策については、区が備蓄している「多目的衛生シート」の活用等の対応を考えている。使い捨て哺乳瓶の備蓄についても研究していく。

●学校図書館の蔵書の充実を求める

問 ①文部科学省が定めた学校図書館において配架すべき蔵書数について、区立小中学校における達成学校数は、②未達成の場合、いつまでに達成するのか。また、③蔵書数を達成した後には達成すべき課題として、内容の充実の問題がある。「調べる学習」に対応することのできる、社会科学や自然科学、歴史等の書籍が必要だが、現在、各学校の蔵書配分比率は、どのような傾向にあり、課題と改善策をどのように捉えているのか。
答 ①達成学校数は、小学校が24校、中学校が3校。②未達成の小学校1校、中学校7校については、令和3年度までに、目標を達成するように整備する。③学校図書館の蔵書配分比率については、小学校では歴史、中学校では歴史と自然科学の蔵書が少ない傾向がある。現在不足している自然科学及び歴史等の蔵書を充実し、調べる学習等にも対応できる蔵書配分比率とする必要がある。



墨田区議会議員 坂井 ひであき

一般質問

■本区における児童相談行政について

問 札幌でまた大変悲惨な児童虐待の事件が発生した。報道では市の児童相談所と警察の認識のずれなどが指摘されているが、迅速な対応が取られなかったために最悪の事態を招いたと言える。厚生労働省は、全国の児童相談所長に徹底した対応を求めた一方、児童相談所側からは「なご」と子どもの安全保障をめぐって逼迫した現状が訴えられた。現在、本区には児童相談所は開設されていないが、この事件と児童相談行政の現状についてどのような認識を伺う。
答 札幌市の事件は、関係機関が連携し国の緊急対策等の徹底により防止できたと考えられる。本区では、通告受理後48時間以内の児童確認を徹底している。これに当たっては、関係機関と情報共有を図り、未然防止と早期発見に繋げることが重要であると認識している。児童相談所との連携強化のため都と協定を締結し、引き続き対応強化に努め、職員育成や弁護士活用も図るなど、子育て支援総合センターの機能をより一層充実していく。

問 児童虐待防止対策に関する件府省庁連絡会議幹事会の検証結果によると、平成28年度の虐待による死亡人数は49人であるが、本区では虐待による死亡事例は過去にあったのか。
答 確認できている限りにおいて、本区での児童虐待による死亡事例はない。

問 児童虐待問題は、親への教育が重要と思われる。子育てに未熟な親への教育はいかにしていくのか。
答 妊娠に対する面接や、乳幼児がいる家庭への訪問を行い、妊娠前から子育て期までの支援を行っている。様々なリスク要因を把握し、虐待防止に繋げるため、きめ細かい対応をはかる。

問 児童虐待防止対策に関する件府省庁連絡会議幹事会の検証結果によると、平成28年度の虐待による死亡人数は49人であるが、本区では虐待による死亡事例は過去にあったのか。
答 確認できている限りにおいて、本区での児童虐待による死亡事例はない。



墨田区議会議員 たきざわ 正宜

一般質問

■東京2020聖火リレーの開催

問 東京2020聖火リレーのルートが発表され、本区には来年7月20日に江戸川区から聖火が入り、同日中に荒川区へ渡すことになっている。各日の最終地点ではセレブレーションという歓迎イベントが行われるが、中間の引継場所でもミニセレブレーションを行う場合があるという。大会レガシーを後世に残していくためにも、区として特色あるミニセレブレーションを行うことや、大会後に聖火リレートーチの展示などができるよう、大会実行委員会その他関係機関へ働きかけるべき。
答 聖火ランナーの出發や到着を祝うミニセレブレーションは、本区が培ってきた伝統文化や工夫などの魅力を世界に発信する絶好の機会となるのでその内容について検討するとともに、引き続き都と協議していく。また、聖火リレートーチの大会後の展示については、聖火リレーが区民や子どもたちの心に残り、今後のレガシーに繋がるよう、実現に向けて東京都聖火リレー実行委員会に要望していく。

問 墨田五丁目都市整備用地東側の主要生活道路について、住民から、見通しが悪く危険であるとの声が上がっているが、都との協議の進捗は。
答 事業計画や土地の権利関係、道路区域の取扱い、整備手法など様々な課題があるが、早い段階で方向性をまとめていく。

問 荒川氾濫時における広域避難について、江東5区による避難体制の早期の整備と、住民への周知及び意識啓発に取り組むことを求める。
答 区長としてリーダーシップをもって、実効性のある広域避難の実現に向けて、検討を進めていく。

問 本区における住工混合に関して、騒音振動等環境改善資金の公費認定基準の検討状況について伺う。
答 議会からの意見も踏まえ、従前の要件を緩和し、事業者が利用しやすい制度とした。



墨田区議会議員 藤崎 こうき

一般質問

■産業振興施策の新たな展開について

問 ①これまで区は、優れたものづくりの技術や質の高い製品をアピールする施策として、3M運動など行ってきたが、地域の誇れる財産として、更に発展させるための施策強化が必要と考える。これまでの成果に対する評価と今後の取組を伺う。また、小さな博物館や地域ブランド事業など、現状の区内産業振興に効果があるのか疑問に思う施策もあるが、これらの施策の改善についての考えを伺う。②区内生産品の中には、工業製品も含め、すばらしい製品が多いが、区民の認知も低いため、来年のオリンピック・パラリンピックをビジネスチャンスと捉え、国内外に向け、パワーアップした産業振興施策を展開すべき。
答 ①3M運動等は一定の成果を上げていると評価しているが、長期にわたり実施しているため、社会状況の変化に反応した見直しも必要と考える。また、小さな博物館の運営補助基準の見直しなど、より意欲的な事業者の支援等を通じて事業の改善を図る。地域ブランド戦略は、事業の検証を通じて、ブランド戦略の再編を図り、これまで以上に区の産業施策全体の統一感あるブランディングを再構築していく。②来年度は国内外から注目が集まるチャンスと捉え、ものづくりのプロモーションを強化して情報発信するほか、東武鉄道高架下に設ける産業振興拠点で社会実験を展開し、新たな産業と観光の融合の姿を模索していく。

問 本区における住工混合に関して、騒音振動等環境改善資金の公費認定基準の検討状況について伺う。
答 議会からの意見も踏まえ、従前の要件を緩和し、事業者が利用しやすい制度とした。